

(倫理様式 2-2-1)

パーキンソン病患者への訪問リハビリテーションにおけるスタッフ、患者、家族の目標は一致しているか

## 1. 研究の対象

2012年3月～2025年10月に当事業所の訪問リハビリテーションを利用したパーキンソン病患者

## 2. 研究目的・方法

訪問リハビリテーション(リハ)では、リハスタッフが患者および家族と共同して目標設定を行い、その達成に向けて介入することが重要です。当事業所においては、共同意思決定による目標の設定や訓練課題の設定を行っており、目標指向型に訓練を実施しています。しかし、パーキンソン病などの進行性疾患に対しては、維持を目的とした介入となることが少なくなく、目標指向型に訓練を展開することが困難と感ずることがあります。先行研究において、在宅リハの現場では、患者は漠然とした目標を持つ傾向があり、自身の病状や回復の可能性に関する不確実性が目標設定の際の課題につながることが多いとの報告があります。すなわち、進行性疾患の患者を対象とした訪問リハにおいては、症状進行に伴う目標再設定が曖昧となりやすくなり、目標の共有が十分に行われない可能性が考えられます。今回、訪問リハを利用したパーキンソン病患者において、リハスタッフ、患者、家族の目標が一致しているか調査することを目的とします。

当事業所の訪問リハでは、リハビリ利用時にリハスタッフの客観的評価に加え、患者、家族より希望とする目標を聴取し、それに基づき目標設定を行っています。今回の調査には、対象患者の疾患名、リハスタッフの掲げた目標、患者・家族が思う目標を収集したデータを用います。

これらの研究は2025年11月～2027年3月の間に実施します。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：疾患名、リハスタッフの掲げた目標、患者・家族が思う目標

※個人が特定される情報は用いません。

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(倫理様式 2-2-1)

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人脳血管研究所 訪問看護ステーショングラーチア  
リハビリテーション部門

研究責任者 近藤 和加奈

住 所：群馬県伊勢崎市大手町 1-1

T E L：0270-20-1588 F A X：0270-20-7677

-----以上